



LPガスって、どんなガスのこと？ LPガスの性質を 正しく知っておこう！

Q LPガスってニオイはあるの？

A ニオイはつけています。

もともとLPガスは無色無臭ですが、万が一ガス漏れしたときに、すぐにわかるようにニオイをつけています。



Q LPガスって重さはあるのかな？

A 空気より重いです。

LPガスは空気より重いので、もしガスが漏れると、低いところや物かけにたまる性質があります。下の方の風通しをよくして、ガスを屋外に追い出しましょう。

LPガスは重さがあるんだ！



Q 燃えるときに必要なものは？

A 燃焼にはたくさんの空気(酸素)が必要です。

室内でガスを使うときには、十分に換気してください。

頑丈なボンベです！



Q 容器の中はどうなっているの？

A 容器の中のガスは液化しています。

LPガスは圧力をかけ、液化した状態で容器(ボンベ)に入っています。

Q LPガスって環境にやさしいかな？

A クリーンなエネルギーです。

LPガスは環境負荷が相対的に小さく、化石エネルギー(石油・石炭・天然ガス)の中でもクリーンなエネルギーと位置づけられています。

環境にやさしいのです！



Q 災害がおきたら復旧はどうなるの？

A LPガスは災害に強い「分散型」エネルギーです。

LPガスは使う家ごとに個別に供給する「分散型」エネルギーなので、災害発生時に個別に点検・調査することで、都市ガスや電力に比べて相対的に早く復旧させることができます。

復旧が一番早いライフラインなのです！

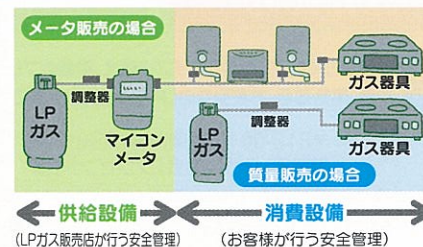


点検の大切さ、知っているかな？ 安全に快適に使うために、 点検・調査にご協力ください。

ガス設備の安全管理と管理責任について

【消費設備とは】

日頃お使いになるガス器具のことで、マイコンメータの出口から室内のガス器具までを指します。メータがない場合は、容器から燃焼器までの設備のことです。この部分の法律上の管理及び点検責任はお客様にあります。



【供給設備とは】

容器からガスメータまでを指します。この部分はLPガス販売店が責任をもって安全管理します。

小型容器をご使用の際は、容器が倒れないように平らな場所で、直射日光や火気を避けて、風通しの良い場所に保管してください。また、横に寝かせて使用しないでください。不要になった容器は必ずLPガス販売店に返却してください。



ガス警報器の
ご使用にあたって

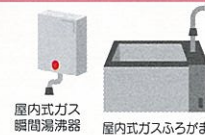
- 警報器が適正な位置に設置されているかを確認しましょう。(機器から4m以内、床上30cm以内)
 - 警報器の電源プラグは常時コンセントに差し込んでください。
 - 警報器のまわりに物を置かないようにしましょう。●警報器が交換期限内のものかを確認しましょう。
- ※共同住宅、学校、病院などの人が多く集まる施設、地下室等に燃焼機器が設置されている場合には、原則として法令によりLPガス用ガス警報器の設置が義務付けられています。

ご存知ですか？

平成21年4月以降に
特定保守製品をご購入のお客様へ

長期使用製品安全点検制度

ガス機器が古くなるなど部品等が劣化し、火災や死亡事故を起こすおそれがあります。メーカーなどに所有者登録することで、適切な時期に点検通知が届きますので、点検を受けてください。下記の対象製品を購入した場合は、所有者登録をしましょう。



対象商品(特定保守製品)／●屋内式ガス瞬間湯沸器●屋内式ガスふろがま

現在お使いの製品(平成21年4月1日より前に製造・輸入された製品)も点検可能ですので、詳しくはメーカーなどにお尋ねください。

法律に基づいた点検・調査にご協力を

① 容器の交換時

LPガス容器・調整器・容器バルブ・ガス供給管などの外観点検

② 1年に1回以上

地下室等(埋設管)の配管からのガス漏れ調査など

③ 4年以内に1回以上

調整器からガスメータまでの供給設備の点検、配管のガス漏れ調査、ガス機器や給排気設備などの調査などガス設備全般についての点検・調査

※点検・調査の結果、改善を指摘された設備については、改善や機器の交換などを行ってください。

福岡県からお願い

- 消費設備は4年に1回以上販売店(保安機関)の調査を受けてください(法定調査)。
- 一酸化炭素中毒を防止するために、燃焼器具を使うときは換気を確実に行ってください。また、不完全燃焼防止装置が付いていない器具を使用している場合は不完全燃焼防止装置付きや屋外設置式への取替をご検討ください。
- 数量販売※によりガスを使うときも販売店の調査を受けてください。

※数量販売／キャンプやお祭りなどでメータを介さない供給方法